

- 問1 聖徳太子が小野妹子を中国の隋に派遣した際、隋の皇帝に宛てた国書の中に「日出づるところの天子、書を日没するところの天子に致す、恙なきや」という一節がありました。このような表現を用いて使節を派遣した聖徳太子の意図として、最も適切な説明を選んでください。 (2022年 和歌山県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------------------------------------|--------------------------------------|---|--|
| 1. 当時の中国の圧倒的な武力を背景に、日本の統治権を委ねる意思を示すため | 2. 隋で流行していた新しい仏教の経典を、日本へ無償で提供してもらうため | 3. 中国を上位とする従来の形式ではなく、対等な立場での国交を樹立しようとするため | 4. 隋の皇帝の臣下として認めてもらい、朝鮮半島での軍事的優位を確保するため |
|---------------------------------------|--------------------------------------|---|--|
- 問2 推古天皇の時代、聖徳太子（厩戸王）らは、従来の氏姓制度のように「家柄」によって地位が決まる世襲の仕組みを改めようとして、そのために導入された「冠位十二階」という制度の主な目的を説明したものとして、最も適切な記述を選びなさい。 (2024年 秋田県公立入試 類似)
- | | | | |
|------------------------------------|--------------------------------------|---------------------------------|----------------------------------|
| 1. 家柄にとらわれず、才能や功績のある人物を役人として登用すること | 2. 天皇と役人が守るべき政治的な道徳を、十七条の項目にまとめて示すこと | 3. 仏教の教えを広めるために、僧侶に十二段階の位を授けること | 4. 地方の豪族に対して、代々その土地を支配する権利を認めること |
|------------------------------------|--------------------------------------|---------------------------------|----------------------------------|
- 問3 7世紀の飛鳥時代、聖徳太子（厩戸王）によって現在の奈良県に建立され、現存する世界最古の木造建築物として知られる寺院を選びなさい。 (2021年 大阪府公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|--------|---------|--------|
| 1. 延暦寺 | 2. 東大寺 | 3. 四天王寺 | 4. 法隆寺 |
|--------|--------|---------|--------|
- 問4 日本の古代史に関する略年表を作成した際、663年の出来事として「倭の軍が、白村江の戦いで、唐と【 】の連合軍に敗れる」と記述する場合、空欄に当てはまる国名として適切なものはどれか。 (2017年 北海道公立入試 類似)
- | | | | |
|-------|-------|-------|--------|
| 1. 百済 | 2. 新羅 | 3. 高麗 | 4. 高句麗 |
|-------|-------|-------|--------|
- 問5 天武天皇から持統天皇の時期にかけて進められた、天皇中心の政治体制を整えるための具体的な記述として最も適切なものはどれですか。 (2022年 福岡県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------------------------------------|--|---|---|
| 1. 飛鳥浄御原令の編纂や、日本という国号、天皇という称号の使用を定めた。 | 2. 平安京へ遷都を行い、新しい仏教勢力と結びついて律令政治の立て直しを図った。 | 3. 冠位十二階を定めて家柄にとらわれず才能のある人物を登用し、憲法十七条を作成した。 | 4. 仏教の力で国家を守るため、全国に国分寺や国分尼寺を建立することを命じた。 |
|---------------------------------------|--|---|---|
- 問6 645年から始まった大化の改新において示された、それまで有力な豪族が私有していた土地や人民を、国家（天皇）が直接支配する体制へと改める方針を何といいますか。 (2021年 和歌山県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|------------|---------|---------|
| 1. 版籍奉還 | 2. 墾田永年私財法 | 3. 地租改正 | 4. 公地公民 |
|---------|------------|---------|---------|
- 問7 聖徳太子が定めた冠位十二階について、この制度が目指した内容を説明したものとして正しいものを選びなさい。 (2022年 高知県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------------------------------|--------------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|
| 1. 一度授けられた位は子孫に受け継がれることを原則とした。 | 2. 個人の能力や功績に応じて、色の異なる冠を授けて役人の位を区別した。 | 3. 地方の豪族を「国司」として任命し、土地と人民を直接支配させた。 | 4. 全ての国民を戸籍に登録し、口分田を割り当てるための基準とした。 |
|--------------------------------|--------------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|
- 問8 西暦による歴史の時代区分において、西暦601年から西暦700年までの100年間で指す名称として正しいものを選びなさい。 (2020年 神奈川県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|--------|--------|--------|
| 1. 8世紀 | 2. 6世紀 | 3. 5世紀 | 4. 7世紀 |
|--------|--------|--------|--------|
- 問9 607年に小野妹子が遣隋使として中国の隋へ派遣された時期の日本の様子について、法隆寺が建立されるなど、現在の奈良県にある飛鳥地方を中心に栄えた、日本で最初の本格的な仏教文化を何と呼ぶか。 (2017年 佐賀県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|---------|---------|------------|
| 1. 飛鳥文化 | 2. 国風文化 | 3. 天平文化 | 4. 弘仁・貞観文化 |
|---------|---------|---------|------------|
- 問10 672年の壬申の乱を制して即位した天武天皇は、天皇を中心とする強力な中央集権国家の確立を推し進めました。天武天皇が行った、日本の国家としての地位を固めるための事績として正しいものはどれですか。 (2018年 神奈川県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|--------------------------------------|
| 1. 大宝律令を完成させて全国に施行し、唐の制度に倣った本格的な官僚機構を完成させた | 2. 「天皇」という称号や「日本」という国号の使用を本格化させ、八色の姓を定めて貴族を序列化した | 3. 十七条の憲法を制定して役人の道徳を示し、小野妹子を遣隋使として大陸に派遣した | 4. 平城京へ都を移し、和同開珎という貨幣を発行して経済の活性化を図った |
|--|--|---|--------------------------------------|
- 問11 「和を以（もつ）て貴（たうと）しとなす」や「篤（あつ）く三宝（仏・法・僧）を敬え」といった一節が含まれ、天皇の命令には必ず従うことなどを役人に説いた法令が制定された「目的」として最も適切な説明はどれですか。 (2018年 三重県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------------------------------------|---|---|---------------------------------------|
| 1. キリスト教の布教を禁止し、貿易を制限することで幕府の権威を高めるため | 2. 豪族たちに役人としての自覚を持たせ、天皇を中心とした政治の仕組みを整えるため | 3. 武士に対して、領地をめぐる争いを解決するための公正な裁判の基準を示すため | 4. 律令に基づいて全国の土地と人民を直接支配する公地公民制を確立するため |
|---------------------------------------|---|---|---------------------------------------|
- 問12 壬申の乱という大規模な内乱を経て、大海人皇子（天武天皇）が自らの権威を背景に構築を目指した、法に基づく国家体制を何と呼びますか。 (2025年 愛知県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| 1. 律令国家 | 2. 摂関政治 | 3. 幕藩体制 | 4. 封建国家 |
|---------|---------|---------|---------|
- 問13 645年に中大兄皇子らが中心となって始まった大化の改新の後、日本は朝鮮半島での戦いに敗れ、外交・国防上の大きな転換期を迎えました。この時期の出来事について述べた文として最も適切なものはどれか。 (2025年 岐阜県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|--|---|
| 1. 白村江の戦いで唐・新羅の連合軍に大敗した後、侵攻に備えて九州に水城を築き、都を近江大津宮へ移した。 | 2. 白村江の戦いで新羅を援護して唐を退けた後、百済との同盟を強化して朝鮮半島での権益を拡大した。 | 3. 白村江の戦いの敗北を受けて、地方を統治する国司の権限を大幅に強め、各地方の豪族に独自の軍事権を与えた。 | 4. 唐や新羅の脅威に対抗するため、中大兄皇子は天皇への即位を辞退し、蘇我氏とともに集団指導体制を敷いた。 |
|--|---|--|---|
- 問14 7世紀の日本における政治的な変遷をたどると、645年に蘇我氏を打倒した「乙巳の変」をきっかけに大きな改革が始まりました。この改革の中心人物であり、後に近江大津宮で即位して天智天皇となった人物は誰ですか。 (2022年 静岡県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|----------|---------|----------|
| 1. 聖徳太子 | 2. 大海人皇子 | 3. 中臣鎌足 | 4. 中大兄皇子 |
|---------|----------|---------|----------|

答え合わせ・解説

問1	答え 3 中国を上位とする従来の形式ではなく、対等な立場での国交を樹立しようとするため	それまでの日本の外交は、中国の皇帝から称号を授かることで地位を認めてもらう「朝貢」の形式が一般的でした。しかし、聖徳太子は自らを「日出づるところの天子」と称し、隋の皇帝と対等の立場で交流しようとして試みました。これには、日本の独立性を高めつつ、高度な技術や制度を吸収しようという目的がありました。
問2	答え 1 家柄にとらわれず、才能や功績のある人物を役人として登用すること。	冠位十二階は、それまでの「氏（家柄）」に基づく世襲制の官職登用を改め、個人の能力や手柄を評価して役人を採用するために作られました。これにより、優秀な人材を政府の中核に集め、天皇を中心とする中央集権的な国家体制を整える狙いがありました。選択肢にある「十七条の項目」は、翌年に制定された「十七条の憲法」の説明です。
問3	答え 4 法隆寺	聖徳太子は推古天皇の摂政として仏教を厚く保護し、国づくりの中心に据えました。法隆寺は飛鳥文化を代表する建築物であり、1993年には日本で初めての世界文化遺産の一つとして登録されました。選択肢の四天王寺も聖徳太子による建立ですが、世界最古の木造建築として現存しているのは法隆寺です。
問4	答え 2 新羅	7世紀の朝鮮半島では高句麗、百済、新羅の三国が争っていました。新羅は中国の唐と連合し、660年に百済を滅ぼしました。日本（倭）は百済の復興を支援するために軍を送りましたが、663年の白村江の戦いで唐・新羅の連合軍に大敗しました。その後、新羅は高句麗も滅ぼし、唐の勢力も退けて朝鮮半島を統一しました。選択肢にある高麗は、新羅の後に朝鮮半島を統一した10世紀の王朝であり、誤りです。
問5	答え 1 飛鳥浄御原令の編纂や、日本という国号、天皇という称号の使用を定めた。	壬申の乱の勝利後、天武天皇は独自の年号を定め、法体系である律令の整備（飛鳥浄御原令）に着手しました。また、中国に対して独立した立場を示す「日本」という国号や、統治者の称号としての「天皇」を本格的に使い始めたのもこの時期とされています。他の選択肢はそれぞれ聖武天皇、桓武天皇、聖徳太子の事績です。
問6	答え 4 公地公民	大化の改新で出された「改新の詔（みことのり）」の第一条では、豪族が支配していた土地（田荘）や人民（部曲）を廃止し、すべてを国家のものとすることが宣言されました。これが公地公民の制であり、天皇を中心とする律令国家を目指すための重要な基盤となりました。
問7	答え 2 個人の能力や功績に応じて、色の異なる冠を授けて役人の位を区別した。	冠位十二階は、役人に色のついた冠を与えることで、その序列を明確にした制度です。これは世襲制であった氏姓制度とは異なり、個人の功績を評価する仕組みであり、翌年に定められた「十七条の憲法」とともに、役人の規律を正し、中央集権体制を整える役割を果たしました。
問8	答え 4 7世紀	歴史上の世紀の数え方は、1世紀を1年から100年までと定義します。これに従うと、601年から700年までの期間は7番目の100年間となるため、7世紀と呼ばれます。西暦の百の位の数字に1を足すと、その年が何世紀かがわかります。
問9	答え 1 飛鳥文化	6世紀末から7世紀前半にかけて、聖徳太子や蘇我氏が仏教を保護したことで成立した文化です。遣隋使の派遣などを通じて、中国（隋）や朝鮮半島の進んだ技術や思想が取り入れられました。この時期の代表的な建築物として、世界最古の木造建築である法隆寺が挙げられます。
問10	答え 2 「天皇」という称号や「日本」という国号の使用を本格化させ、八色の姓を定めて貴族を序列化した	天武天皇は壬申の乱という国内最大級の内乱を勝ち抜いたことで、極めて強い権力を手にしました。これを利用して、それまで有力豪族の連合体であった政治体制を、天皇を頂点とする秩序へと作り替えようとしてしました。具体的には、「八色の姓（やくさのかばね）」を制定して豪族たちを天皇に仕える官僚として序列化したほか、国家としてのアイデンティティを確立するために「日本」という国号や「天皇」の称号を用い始めたと考えられています。
問11	答え 2 豪族たちに役人としての自覚を持たせ、天皇を中心とした政治の仕組みを整えるため	当時は豪族がそれぞれの領地や私民を支配していましたが、聖徳太子は彼らを国家の「役人」として位置づけようとしてしました。互いに争わずに協力すること（和）や、仏教を敬うこと、天皇の命令を遵守することを求めることで、豪族間の対立を抑え、天皇に権力を集中させる狙いがありました。なお、全国的な土地支配を定めた「公地公民」は、後の大化の改新以降の動きです。
問12	答え 1 律令国家	天武天皇は、内乱を勝ち抜いたことで得た強大な権力を使い、官僚組織の整備や戸籍の作成、法典（律令）の編纂などを進めました。このように、天皇を頂点として法によって全国を統治する仕組みを律令国家と呼びます。この流れは、次の持統天皇や大宝律令の完成へと引き継がれていきました。
問13	答え 1 白村江の戦いで唐・新羅の連合軍に大敗した後、侵攻に備えて九州に水城を築き、都を近江大津宮へ移した。	中大兄皇子は百済復興のために軍を派遣しましたが、663年の白村江の戦いで唐・新羅の連合軍に大敗しました。その後、日本への侵攻を恐れた中大兄皇子は、九州に防衛施設である水城や山城（朝鮮式山城）を築き、都を内陸の近江大津宮（滋賀県）へ移して防衛を固めました。天智天皇として即位するのもこの時期のことです。
問14	答え 4 中大兄皇子	蘇我入鹿を倒して権力を奪還した中大兄皇子は、中臣鎌足らとともに「大化の改新」と呼ばれる政治改革を推進しました。この改革は、豪族中心の政治から天皇を中心とする中央集権国家への転換を目指したもので、中大兄皇子はその後、正式に天智天皇として即位しました。